

LET COMMUNITIES LEAD

 World AIDS Day 2023

 UNAIDS



UNAIDS プレスリリース

エイズ終結に向け、コミュニティ主導の闘いに緊急支援を 世界エイズデーを前に UNAIDS が要請

UNAIDS の新たな報告書は、コミュニティの重要な役割を強調し、資金不足と有害な障壁によって人びとの命を救うコミュニティの活動が妨げられ、エイズ終結を阻んでいることを明らかにした。

ロンドン/ジュネーブ 2023年11月28日 世界エイズデー（12月1日）が近づく中で UNAIDS は各国政府に対し、世界中で草の根コミュニティの力を解き放ち、エイズ終結への闘いを主導できるようにすることを求めている。UNAIDS が本日発表した報告書『[Let Communities Lead \(コミュニティ主導でいこう\)](#)』によると、公衆衛生上の脅威としてのエイズを2030年までに終わらせることは可能だが、ただしそれは最前線のコミュニティが政府やドナーから必要な支援を全面的に得られた場合に限られる。

「世界中のコミュニティは、自らが終結への道をリードする用意も、意欲も、能力もあることを示しています。しかし、そのためには自分たちの活動を妨げる障壁を取り除き、適切な資金を確保しなければなりません」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長は語る。「政策決定者が、コミュニティを尊重し、支援すべきリーダーとして遇するのではなく、管理すべき困った問題として扱うことがあまりにも多い。コミュニティはエイズ終結への道を妨げる存在ではありません。終結への道を照らしているのです」

報告書はロンドンで開催された市民社会組織 [STOPAIDS](#) 主催の世界エイズデー・イベントで発表され、対策の推進役としてのコミュニティの力を強調する内容となっている。

街頭での活動から法廷や議会の場に至るまで、コミュニティが展開するアドボカシー活動により、画期的な政策の変更が実現している。コミュニティのキャンペーンが、HIV 治療のジェネリック薬の利用を広げ、HIV に最も大きな影響を受けてきた多くの国で治療費の大幅かつ継続的な削減が実現した。一人当たりの年間治療費は 1995 年当時 2 万 5000 米ドルだったのが、いまでは 70 米ドルを下回っている。

『Let Communities Lead (コミュニティ主導でいこう)』は、コミュニティ主導の HIV プログラムに対する投資により、画期的な利益がもたらされたことを示している。報告書によると、ナイジェリアではコミュニティベースの組織が提供するプログラムによって HIV 治療の普及率が 64% 拡大した。HIV 予防サービスの利用は倍増し、HIV 感染のリスクがある人たちの間では一貫したコンドーム使用が 4 倍に増えたという。また、タンザニアでは、セックスワーカーの間でピア（仲間）が提供するサービスのパッケージを利用したところ、HIV 感染率が 10.4% から 5% 以下へと半減した。

アイルランドの Access to Medicines 共同創設者、ロビー・ローラー氏は「HIV 感染を促す組織的な不公正に終止符を打たなければなりません。私たちこそがそのための変化を生み出す力なのです。U=U による画期的な成果を目の当たりにし、医薬品へのアクセス改善と、非犯罪化の実現に向けて大きく前進してきました」と語り、次のように続けた。「ところが、私たちはいま、財政的な支援もなしに山を動かすことを期待されているのです。より公平な世界の実現に向けて闘うことを期待され、スティグマを払拭する使命を負っています。それなのに重要な議論の場では脇に追いやられているのです。私たちはいま、大きな転換点にいます。コミュニティはいつまでも脇に追いやられていることはできません。いまこそリーダーシップを発揮する時です」

報告書は、コミュニティがイノベーションの最前線に立っていることに焦点を当てている。ナミビアのウイントフックでは、若者のエンパワーメントグループが自らの資金で電動自転車を活用し、学校に通うためにクリニックに通えない若者に対し、HIV 治療薬や食品を届け、服薬をきちんと続けるための支援を行っている。中国では、2020 年の HIV 検査件数が全国で 2009 年当時の 4 倍以上に増加していた。この大きな拡大に貢献したのは、コミュニティ団体が自己検査を呼びかけるスマートフォンアプリを開発し、人びとを HIV 検査につなげたことだった。

コミュニティがサービス提供者に説明責任を求める様子も報告されている。南アフリカでは 5 つの HIV 陽性者コミュニティネットワークが 29 地区 400 カ所で現地調査を行い、HIV 陽性者に 3 万 3000 件以上のインタビューを行っている。フリーステート州ではその結果を受け、州保健当局が診療所の待ち時間短縮と、抗レトロウイルス薬の 3 カ月、6 カ月処方をする新たな予約の仕組みを導入した。

「LGBT+コミュニティなどキーポピュレーションの人たちが医療サービスから排除されることを非常に懸念しています」と英国のアンドリュー・ミッチェル開発・アフリカ担当大臣はいう。「市民社会のパートナーと緊密に連携しながら、英国はそうしたコミュニティの権利を守っていきます。パンデミックの拡大要因である不平等に私たちの意識を向けてくれた UNAIDS に感謝し、

パートナーと協力して HIV 陽性者の声を擁護し、2030 年までに公衆衛生上の脅威としてのエイズを終わらせたいと考えています」

明確なエビデンスで成果が示されているにもかかわらず、コミュニティ主導の対応の認知度は低く、資金も不足している。場所によっては攻撃を受けることさえある。市民社会が崩壊し、疎外されたコミュニティの人権に対する弾圧が強まることで、コミュニティによる HIV の予防と治療サービスの提供も妨げられている。コミュニティ主導の運営が資金不足で継続困難になり、規模の拡大も妨げられてきた。こうした障壁を取り除けば、エイズ終結に向けてコミュニティ主導の組織はさらに大きな力を発揮することができる。

エイズ終結に関する国連総会 2021 年政治宣言で、国連加盟国は HIV サービスの提供、とりわけ HIV の高いリスクに直面している人たちへのサービス提供に果たすコミュニティの重要な役割を確認した。それなのに、2012 年当時の HIV 資金は 31%以上が市民社会組織を通じて提供されていたのに対し、10 年後の 2021 年には 20%しか利用できていなかった。資金の約束はこれまでになく後退し、その結果として命が犠牲になり続けてきたのだ。

「エイズ対策の現状ではコミュニティ主導の行動が最も重要です」と国際治療準備連合（the International Treatment Preparedness Coalition）のソランジュ・バティスト事務局長は語る。「驚くべきことですが、それでもなお、パンデミックへの備えとすべての人の健康に向けた世界的な計画や共通課題、戦略、資金調達メカニズムの基礎はできていません。この状態はいま変えなければならないのです」

エイズによって 1 分に 1 人の命が失われている。1 週間に 4000 人の少女と若い女性が HIV に感染している。そして、3900 万人の HIV 陽性者のうち 920 万人は、命を救える治療があるのにその治療を受けることができていない。エイズ終結の道はある。ただし、2030 年までにその終結が可能になるのは、コミュニティが主導する場合に限られている。

UNAIDS は以下の 3 点を呼びかけている。

- ・コミュニティのリーダーシップをすべての HIV 計画とプログラムの中心に据える
- ・コミュニティがリーダーとしての役割を果たせるよう十分な資金を確実に提供する
- ・コミュニティのリーダーシップを妨げる障壁を取り除く

報告書にはコミュニティの指導者による 9 つのゲストエッセイが掲載され、この人たちが達成してきた成果と直面する障壁、公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結に向け世界が必要としているものについて、その経験を共有することができる。

日本語仮訳：公益財団法人エイズ予防財団